

山に魅せられた

県山岳連盟理事長
縦の木山岳会代表

三枝昌彦(45歳) 十日市場 977-5



この度、ヨーロッパアルプスを踏破なさったそうですがおめでとうございます。これまでの経歴についてお聞かせ

下さい。

山登りを始めたのは、中学一年の時に先生に連れられて大菩薩に登ってからです。その後、都留の「縦の木山岳会」に入会し現在に至っております。今回のヨーロッパアルプスへの登山は、山岳会の三周年記念として行いました。よく知られていないようすが、県内では、伝統と実績のある山岳会です。

三枝さんは、海外遠征の経験が豊富だとお聞きしておりますが、

昭和五十一年にアラスカのマッキンリー(標高6194m)に登りました。その後五十四年に台湾の玉山(新高山・標高3997m)、五十七年にカナディアンロッキーそして、今回のヨーロッパアルプスです。

登ったのは、マッターホルン(標高4478m)・モンブラン(標高4807m)などの山です。実は、縦の木山岳会のバッチとワッペンには、マッターホルンをあしらったものです。三十周年の記念としてヨーロッパアルプスを選んだ理由はここにあるのです。

山登りの楽しさについて一言お願いします。

山登りは、ある意味で代償のないスポーツです。苛酷では在りますが、感激も大きいです。また、物事をなし遂げた満足感もある。これは、踏破した全員で味わうことが出来ます。

山は、登ろうとすれば誰でも登れます。努力しようとする人ならば登ることが出来るのです。まさに努力の勉強ですね。また、年齢に応じた登り方もあり、それなりの楽しみ方もあります。

山に囲まれた都留市には、手軽に登れる山が沢山あります。私達と山頂を目指してみませんか、里で味わえない感激をきつと得ることが出来ると思います。

縦の木山岳会三十周年記念山行報告会

(ヨーロッパアルプス)

- ◎「ヨーロッパアルプスを目指す」ビデオ上映
- ◎写真展
- ◎スライドによる報告会
- ◎講演会 11月中旬予定

問合せ先

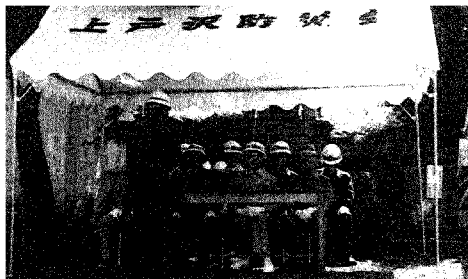
縦の木山岳会
代表 三枝昌彦
☎ 43-1330

「防災の日」各地で訓練

去る九月一日(火)「防災の日」、防災会では、早朝から消防団等と協力し、防災訓練を行いました。

訓練会場の一つ市役所前駐車場では、地震による火災を想定、発煙筒を炊くなどし、避難訓練や屋上に取り残された人を、梯子車を使って救出する訓練など、本番さながら

に行われました。また、消防署のレスキュー隊は、特殊力ツターを使い事故で自動車に閉じこめられた人をドアの切断により救出するなど、日頃の訓練の成果を披露しました。とかく忘れがちですが、あなたは、防災への備えは万全ですか。この機会にもう一度ご確認下さい。



▶上戸沢防災会

訓練に

▶市庁舎屋上にて
励む市民